

国際協力の現場を語る

JICA (ジャイカ: 国際協力機構) は、開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持ったシニア (40歳~69歳) を途上国に「シニア海外ボランティア」として派遣しています。この人達はシニアならではの、海外旅行などでの体験とは違ったいろいろな体験をしてきています。そんな話題も含めて体験を語って頂きます。

日 時: 毎月第3水曜日 15時30分~17時
 会 場: JICA 横浜 1階会議室または4階セミナールーム
 会 費: 無料 (どなたでも自由に参加出来ます)
 主 催: NPO「シニアボランティア経験を活かす会」
 後 援: JICA 横浜

問合せ先:
 横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜3階 国際協力連絡室内
 シニアボランティア経験を活かす会 神奈川分科会
 Fax:045-663-3263 担当: 臼井道雄 (045-891-5490)
 Eメール: jicasvob@kme.biglobe.ne.jp



赴任国 (講師名)		「タイトル」 講演概要
第67回 3月16日 (水) チュニジア (小黑君枝)		「2年間の活動内容とその成果」 女性自立の為の職業訓練所での服飾指導の様子。 当初は、プライドの高い同僚に、なかなか手法が認められず、受け入れようとする姿勢も見られなかったが、私自身の考えを明確に示した結果、徐々に理解が得られるようになり、最終的には感謝の言葉が聞かれた。そのプロセスを報告。
第68回 4月20日 (水) パラグアイ (豊田久承)		「ラ・コルメナ農協のための畑灌技術の指導」 45年前にパラグアイで最初の日系人の移住が始まったラ・コルメナ市は青果物生産の伝統があり、1992年日本政府の無償資金援助により灌漑施設が完成した。この施設により灌漑用水や飲料水の供給が可能となった。この灌漑施設の有効利用による作物の生産拡大のための技術指導を行った。
第69回 5月18日 (水) ドミニカ共和国 (永見正敏)		「ドミニカ観光と私」 ドミニカ共和国はカリブ海で最も多く外人観光客を集めている観光王国。しかし日本人観光客はわずか2千人余りという状況の中で同国への数を増やす方策を伝授するためシニアボランティア (SV) は赴任した。SVの現地での活動と観光資源を紹介するほか、SVが帰国後就任した同国観光省日本事務所での事業も併せて紹介する。
第70回 6月15日 (水) タイ (米田健一)		「タイ天然資源・環境省ラチャブリ地域事務所における廃物管理支援活動」 1. ラチャブリ地域事務所8が管轄する4処分場の進出水及び井戸水の安全性に関するモニタリング 2. ラチャブリ県ラックムーアン町との家庭ごみから有機系ごみの分別・堆肥化コンポスト 3. 家庭ごみから廃プラスチック分別・燃料化技術調査
第71回 7月20日 (水) ボリビア (森 妙子)		「南米のヘソ・ボリビアで頑張る日系人たち、そしてボリビアの今」 移住というとブラジル・アルゼンチンなどと言われる。どっこいボリビアでも日系人が頑張っている。歴史は古く110周年を祝った。戦後も次々と入植。艱難辛苦を乗り越えて、今ではボリビアの農業を支え、周囲のよき手本となっている。そして今、ボリビアはリチウムの埋蔵量世界一と注目され、今後日本との関係も強化されていくだろう。そんなボリビアの今も伝えたい。